

支援プログラム

作成日 令和6年 10月 15日

法人（事業所）理念	子どもの生き抜く力を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指します。			
支援方針	社会の中で自分らしく生き抜くために、一人でできることを増やし、自信をもってともに生活する力を育みます。 一人ひとりの特性に合わせたプログラムを専門性を生かした1対1の指導でゆっくり向き合い、小さな変化を見逃さず、成長へつながる適切な指導を行います。			
営業時間	営業時間 (11:00~20:00)	送迎実施の有無	送迎有り	
	支援内容			
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣や食生活・健康について、学習や遊びを通して身に付け、年令に合わせた自己管理ができるようになります。		
	運動・感覚	運動に係る基本的な技能の向上にむけ、各自が日頃五感で得た情報やビジョントレーニング・姿勢・体感・柔軟性などを取り入れた学習を行います。		
	認知・行動	話す・読む・書く・聞く・計算する・推論するなどの基本的な学習を一人ひとりに合わせ、工夫された教材で身に付けます。		
	言語・コミュニケーション	生活の中での語らいを増やし、相手の気持ちや行動を理解し、自分の考え・思いを伝えることができるよう、工夫した教材や他の人と係わる楽しさを通し、ルールや感情のコントロールを身に付けます。		
	人間関係・社会性	よりよい人間関係を築くために、多様な教材や実生活での出来事を通して、自分や相手の気持ち・まわりの状況に気付き、理解し実践する力を付けます。		
家族支援		保護者面談や隨時に、来所時での様子や活動についての情報を共有する機会を持ち、連続性のある総合的な支援を行います。		
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 ・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。 		
職員の質の向上		年3回社内研修を計画的に行い、共通認識のもと資質の向上を図ります。必要に応じて隨時も行います。		
主な行事等		季節感・指導内容を考えて、計画的に行います。		